

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原温泉ゆとろぎの湯

指定管理者：島原市中堀町商店街協同組合

施設所管部署：しまばら観光おもてなし課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	駐車場売上が年々、下がってきている。商店街の客数と観光客の減少。経費の面では薬剤や水道代などを工夫して抑えられた。入浴者の客単価が下がってきているので、物品販売に力を入れていく。
所管部署による総合評価	入浴施設、駐車場ともに利用者が減少しており、経費の削減に努めているものの厳しい運営状況にある。利用者の増加を図る取り組みとして、日帰り観光客の取り込みや、市内で開催されるスポーツ大会や温泉がない宿泊施設との連携を強化し、新たな利用者の増加を図る必要がある。

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設

指定管理者：(株)島原観光ビューロー

施設所管部署：しまばら観光おもてなし課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容とおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	B	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	A	A
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	A	A
	緊急時の体制は万全か。	A	A
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	A	A
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>2018年度事業計画に記載した「管理運営を行うにあたっての経営方針」～の再掲 (1)「お客様の安全安心の確保」を最優先課題とし、その為の危機管理(修繕や投資や体制構築)を徹底 ⇒ ハイน์リッチPJTはあくまで応急措置であり課題はまだ残っています (2)「お客様満足の最大化」を妥協することなく追求し、その為の設備投資・人的投資を継続 ⇒ お客様は飽きっぽい浮気性、常に投資し続けなければ即陳腐化することを課題として認識しています (3)「管理施設からの収益最大化による指定管理料の低減」という株式会社化した目的の達成に向け、物販では仕入・販売体制の見直し、入場施設では赤字自主事業の取捨選択と新たな収益イベントへの取組みによって目的達成を目指す ⇒ (指定管理料減額800万に対し、2018年度の経常が▲800万以内なら2018年度は評価できると考えます) (4)一方で公共の福祉・文化・教養面での貢献も、採算を見極めながらも継続すべきものは規模を縮小しながらでも継続します ⇒ 設立早々の赤字会社が、指定管理料低減と単年度黒字という二律相反を実現すべく目標に向かっていきます。赤字・労力だけかかる公益事業については当面縮小することをご理解頂きたい (5)その上で、設立目的の観光を切り口とした地域活性化・地域経済への貢献を果たすDMOを目指す。</p>
所管部署による総合評価	<p>会社設立当初から、利用者の増加を図るため施設を有効に活用した自主事業に取り組むとともに、施設の適切な管理、及び健全な運営にスタッフが一丸となって取り組んでいる。 また、利用者に対する安全管理をはじめ、収支計画に応じた健全な運営に努めており、指定管理料の減額についても計画的に行われている。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市有明の森フラワー公園

指定管理者：共同事業体 ブランド島バラ 株式会社プチライフ

施設所管部署：しまばらブランド営業課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	B	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	本年度は、九州北部豪雨など自然災害、悪天候の影響により来園者が伸び悩み、一昨年より着手した長崎県の事業(大阪阪急での島原フェア)への出店見送りなどにより売り上げも減少傾向の一年でしたが、前向きな計画を立てることが可能になり変革の年としてはそれなりの評価ができる年であったと評価します。
所管部署による総合評価	施設の基本的な維持管理に加えて、利用者のニーズ把握に努め、自主事業の実施につなげるなどより良い施設運営に向けた取り組みがなされている。

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市有明福祉センター

指定管理者：社会福祉法人 島原市社会福祉協議会

施設所管部署：有明支所

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	概ね、職員及び現場スタッフにより、施設管理・運営はできていると思うが、ぎりぎりのスタッフで対応しているため、類似施設での研修ができていないのが現状である。それをカバーするために、インターネット等での情報収集して対応していくことも考えていく必要がある。
所管部署による総合評価	機器の老朽化による不具合の発生もあるが、通常の施設管理・運営は問題なく行われている。しかし、近年利用者の減少が続いており、利用者増に向けた取り組みや新たな自主事業の企画など積極的な事業展開が必要であるとする。

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原図書館・有明図書館

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 社会教育課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	B	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	A	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	A	A
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	A	A
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	A	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	A	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>1. 利用実績：島原、有明両図書館の利用者47,113人(前年比+910人)、貸出点数230,439点(前年比+8,444点)</p> <p>2. 収支・・・収入決算額55,700,401円、支出決算額54,684,807円、差引額+1,015,594円</p> <p>3. 良い点：全体的に突出した成果は見られないが、職員のスキルアップ、施設の保全、自主事業の推進及びそれらの結果としての利用者サービスに寄与した。</p> <p>4. 課題：施設としての老朽化が認められる。とりわけ、夏季に向けて空調の修繕は喫緊の課題である。</p> <p>5. 次年度への取組：図書館の利用促進の一環として、話題図書のコナーの設置、幼児に対する図書への興味を引き出すイベントの開催など、図書館の役割を發揮するべく努めること。</p> <p>(総合評価)・・・評価項目に対する事業計画の実績状況は、すべて目標の達成に至っており、大過なく業務の推進に努めることができた。</p>
所管部署による総合評価	<p>評価項目に対する事業計画の実績状況では、全てにおいて目標とする成果が見られ、一定の評価が出来る。特に、自主事業をとおして親しまれる図書館の運営に寄与することにより、利用者が増加していることは評価できる。全体として、適切な施設の管理運営及び利用者へのサービス向上に努められている。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原文化会館

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 社会教育課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	A	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	A	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	A
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	A	A
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>1. 利用実績・・・利用回数1,068回(前年比+83回)、利用人数90,468人(-303人)、利用料金13,665,844円(+2,671,069円)</p> <p>2. 収支・・・収入決算額47,117,636円、支出決算額44,738,493円、差引額+2,379,143円</p> <p>3. 良い点・・・施設の保守点検、補修、清掃等は、専門業者へ委託するとともに、可能なことは職員で実施した。補正予算を組み修繕や備品購入を行うことで、利用者の利便性向上に努めた。</p> <p>4. 課題・・・会館は建築後44年経過しており、施設等の老朽化が著しい。事故の発生を防止するために施設及び設備等の改修が必要である。</p> <p>5. 次年度への取組・・・安全と清潔を第一として会館の運営に取り組む。設備等の不備により利用者に迷惑をかけないように日常点検を実施する。</p> <p>(総合評価)・・・事業計画の内容通りの取り組みが出来た。</p>
所管部署による総合評価	<p>評価項目に対する事業計画の実績状況では、全てにおいて目標とする成果が見られ、一定の評価が出来る。また、利用者の増加のための積極的な取り組みにより、利用団体数及び利用料金収入が増加したことは評価できる。老朽化対策をはじめとして、適切な施設の管理運営及び利用者へのサービス向上に努められている。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市有明文化会館

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 社会教育課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	A	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	A	A
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>1.利用実績・・・利用回数1,520回(前年比-6)、利用人数52,913人(+1,388)、利用料金7,026,096円(+1,054,367円)</p> <p>2.収支・・・収入決算額38,856,794円、支出決算額36,846,828円、差引額+2,009,966円</p> <p>3.良い点・・・施設の保守点検、補修、清掃については、専門業者へ委託し事故防止や安全管理に努めた。また、職員においても日々の安全点検、修繕、清掃を実施した。</p> <p>4.課題・・・有明文化会館の存在が、旧島原市民に十分に認知されていない傾向がみられるため、様々な自主事業を開催し、市民への周知を図っていきたい。</p> <p>5.次年度への取組・・・安全と清潔を第一として会館の運営に取り組む。また、設備等の不備が出た場合は、利用者に迷惑をかけないように早急に対応し、日々の日常点検も職員全員で徹底する。</p> <p>(総合評価)・・・事業計画の内容どおりの取り組みができた。</p>
所管部署による総合評価	<p>評価項目に対する事業計画の実績状況では、全てにおいて目標とする成果が見られ、一定の評価が出来る。また、利用者の増加のための積極的な取り組みにより、利用人数及び利用料金収入が増加したことは評価できる。全体として、適切な施設の管理運営及び利用者へのサービス向上に努められている。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：総合運動公園一帯の施設

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 スポーツ課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	B
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	B
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	A	A
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	A	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>1.利用実績・・・総利用人数 83,000人、収入 4,40,000円 (前年度比 2,800人増、1,000,000円増)</p> <p>2.収支・・・収入決算額 17,000,000円、支出決算額 16,300,000円、差引額 700,000円</p> <p>3.良い点・・・利用者(特に高体連・中体連)の利便性のために、勤務時間を変更して開場時間の延長(4/17～1学期末)、休場日の開場(年間2日)、大会等での早期開場(随時)を行った。</p> <p>4.課題・・・メインスタンド下ロビー、男子更衣室、会議室Aでの雨漏りがあり、利用者へのサービス向上のためにも改善が必要である。</p> <p>5.次年度への取組・・・施設一帯の安全管理の徹底。球場の外野芝生が改修・養生で3年が経過し、利用基準とメンテナンスの見直しによる早期の利用開放を目指す。</p>
所管部署による総合評価	<p>収入については、使用料金の改正もあり増加しているが、利用者が大幅に増加している点は、通常管理業務において陸上競技の多岐にわたる用具の管理等を的確に行うとともに開場時間延長による利用者の利便性の向上に努めていること及び利用拡大に向けた広報活動によるものである。施設の修繕については、危機管理対策の観点から随時点検を行っており、自前で対応できるものについては、積極的に対応し、逐次市への報告もされている点は評価できる。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原復興アリーナ一帯の施設

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 スポーツ課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容とおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	A	A
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	B	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	A	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	A
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	B	B
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>①収入は減免込みで100万円強増加したが、利用人数は2万7千人強減少した。ママフェス、バスケット日本リーグ、九州ジュニアフットボール、九州ブロック国体バレーボール・サッカー、県高総体剣道等が実施されなかったことが主な要因である。</p> <p>②新規の自主事業を実施し、集客に努めた。また職員のレベルアップのために講習会にも積極的に参加した。</p> <p>③音響設備の点検、バスケットゴールの点検を実施したい。また環境美化の為に職員ではできない高木の剪定等予算を組んで実施したい。</p> <p>④アリーナ床面も傷んできており、必要によっては研磨等実施したい。</p> <p>⑤業者委託は仕様書を見直し、適正なものに変更する。</p> <p>⑥収支決算額は収入決算額58,000,000円、支出決算額56,000,000円、差引額2,000,000円</p>
所管部署による総合評価	<p>収入については、使用料金の改正もあり増加しているが、利用者については、定期的ではない利用の大規模大会の開催がなかったことにより減少しているものの、継続して利用されている大会等については、積極的な働きかけもあり、維持している。また、施設管理について、木製床の管理及び芝生の管理については、利用者の利便性の向上と危機管理対策から積極的に取り組んでおり、施設の満足度向上に向けた取り組みは評価できる。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市霊丘公園体育館・弓道場及び周辺施設

指定管理者：(一財)島原市教育文化振興事業団

施設所管部署：島原市教育委員会 スポーツ課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容とおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	A	A
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	A	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	A	A
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	B	B
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	A	A
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	<p>1.利用実績・利用人員96,000人(前年比8,000人減)利用料金10,700,000円(前年比900,000円増)</p> <p>2.収支・収入決算額53,600,000円、支出決算額52,900,000円、差引額700,000円</p> <p>3.良い点・体育館では、無料開放サービスや器具の無料貸出、自主事業の開催等によって利用者増につながり大幅な収入増となった。この為、補正予算(125万円)を組みスポーツ課で出来なかった高額な修繕を行い利用者サービスにつなげた。</p> <p>4.課題・れいなん会館は、6月に利用の多い器具等2台が修理不能となった事や、老朽化している器具が多く度々故障するため利用者が減り料金収入も減少した。市の計画では2年後に廃止売却予定であるが、収入減を抑えるための方法を検討する必要がある。(トレーニング器具経過年数、30年以上7台、20年以上5台、15年以上3台、10年未満3台)</p> <p>5.次年度への取組・利用者が、年々減少している武道館において新たに空手教室の開催や、近年宿泊を伴う大学生の利用があり、市外料金で高額収入が見込めるため福岡市における合宿誘致の参加し料金収入の増加を図りたい。</p> <p>(総合評価)職員の勤務する体育館や温水プールにおいては事業計画以上の取り組みが出来たが、シルバー管理人の勤務する武道館やれいなん会館では十分な取り組みが出来なかった。</p>
所管部署による総合評価	<p>収入については、使用料金の改正もあり増加しているが、利用者については、定期的ではない利用の大会の開催がなかったことや温水プールの工事による閉館などもあり減少しているものの、継続して利用されている大会等については、積極的な働きかけもあり、維持している。体育館、弓道場、武道場、プール、武道館、庭球場といった多岐にわたる施設を管理する中、スポーツ器具の貸し出しなどにより飛び込みでもスポーツができるような工夫を行っており、子供から高齢者まで好評な自主事業と合わせ、施設の満足度向上に向けた取り組みは評価できる。</p>

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市有明プール

指定管理者：(株)しまばらウェルネッサンス

施設所管部署：教育委員会スポーツ課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容とおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	A	A
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	B	B
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	A	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	B	B
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	A	A
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	A	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	B	B
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	B	B
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	施設利用者は、前年度から若干減少はしているが、利用についての苦情等はない、しかしながら近年の原油高騰による経費の増加は、赤字経営の要因となっているが本年度は市の対応も前向きに検討され、何とか乗り切れるかなと想定している。今後当初からの課題である雨漏りの防止が強く望まれる。次年度への取り組みは、本年度の運営を維持しながら地域から求められる事業等を検討して改善につなげたいと考えている。
所管部署による総合評価	経費節減には、従来から積極的に取り組まれている中、燃油の高騰といったやむを得ない事情のため、厳しい運営となってしまったが、自主事業の取組みや、利用者拡大への広報などは積極的に行なわれた。施設の管理運営にも鋭意取り組まれており、修繕等への速やかな対応も行われ、利用者からも苦情も出ていない。

平成30年度 指定管理者 管理運営評価結果

施設名：島原市営平成町人工芝グラウンド

指定管理者：一般社団法人 長崎県サッカー協会

施設所管部署：教育委員会スポーツ課

評価基準	A	事業計画・仕様書の内容や目標を上回る成果(取り組み)がある。
	B	概ね事業計画・仕様書の内容どおりの成果(取り組み)がある。
	C	事業計画・仕様書の内容や目標を下回っている。

評価項目	評価内容	指定管理者による評価	所管部署による評価
施設の管理	職員の人材育成として、仕様書及び事業計画書に基づく人材育成が行われているか。	B	A
	管理に係る経費削減のための取組が行われているか。	A	A
施設の運営	自主事業計画書に基づく自主事業が行われているか。	B	A
	特定の利用者を優遇したり利用条件に偏りが無く、平等・公平が確保されているか。	A	A
	利用者に対するサービスを向上させるための方策がとられているか。	A	A
	利用促進(利用者増)のための方策がとられているか。	A	A
	利用者等の要望の把握し、適切な対応がなされているか。	A	A
	利用者のトラブルの未然防止と対処が行われているか。	B	B
個人情報保護の措置	法律、条例に基づき適切に扱われているか	B	B
危機管理体制	防犯、防災に対する対策が行われているか。	B	B
	緊急時の体制は万全か。	B	B
施設の維持管理	点検や清掃に不備はないか、補修も計画的に行われているか	A	A
	警備・保安体制は万全か。	B	B
	利用者の安全が守られているか。	B	B

指定管理者による総合評価	平成24年開業以来、利用団体等は順調に増加し、平成30年度も約10万人に利用いただき、収益も伸びております。平成31年度は開業以来8年を迎えましたが、今後も利用者の立場に立って、管理・運営に努めてまいります。
所管部署による総合評価	九州レベルの大会から地域のクラブの練習まで、また、サッカー協会と連携し数多くの大会を積極的に誘致しており、全国高専サッカー大会のように全国規模の大会の新規誘致も実現するなど、周辺施設にも施設利用の波及効果が及んでいる。大会誘致や合宿誘致に対する取り組みは他の施設の模範となる取り組みである。利用者数は10万人台を若干割り込んではいらぬものの、夜間や利用者の評判も良い。更に運営に関しても利用者の要望に柔軟に対応し、工夫を凝らして利用促進を図っている。